

新耐震 2000 年基準に適合していない 在来軸組構法の木造住宅の耐震診断

昭和 56 年 6 月から平成 12 年 5 月まで（通称：グレーゾーン期間）に建てられた建物の耐震診断について

横浜市民の皆様へ

1月に発生した能登地震を受けて、1981年から2000年頃に新築された木造在来工法のお住まいの耐震性に不安を感じられている方も多いのではないのでしょうか。

当協会には耐震診断ができる会員が多数在籍しており、対応可能な認定事業者をご紹介します。下記電話番号へご相談ください。

ご相談例：現地調査・診断書作成・耐震診断書の説明や耐震補強のご提案等

※ご契約は会員個々の建築士事務所と直接していただきます。

横浜市建築士事務所協会事務局
TEL 045-662-1337



診断料金の目安(2024年7月までの診断料金の目安です)
新耐震基準の現地調査と耐震診断(補強提案は除く)

対象建築時期	昭和 56 年 6 月から平成 12 年 5 月までの期間
構法	木造在来工法
階数	2 階建てまで
床面積	120㎡まで
診断費用目安	税込み 11 万円～33 万円程度
耐震診断法	日本建築防災協会の一般診断法 又は 精密診断